

事業番号	09 03 06	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業関係試験研究推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課	
		実施期間	不明～	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）						
8つの重点目標	労働生産性					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進					
	3-7 先端技術の積極的な活用・導入					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	県内農業の持続的な発展のため、市場評価の高い長野県オリジナル品種の開発、低コスト・省力化を図るためICTや作業ロボットなどを活用したスマート農業の実現が必要となっている。また、減農薬など環境にやさしい農業技術や地球温暖化対策技術等、担い手不足や農家の高齢化等、生産現場の問題解決や要望に対応できる中長期的展望に立った技術の開発が求められている。	令和元年度 補正後額	1,120,719 千円
		職員数	170.00 人

目指す姿	<p>○国内外の市場において、マーケットインの販売や輸出戦略に対応できる新品種の育成、スマート農業生産技術など、生産性・品質向上技術等の新技術が開発されている。</p> <p>○地球温暖化等の中長期的な視点に立った課題に対応した新技術の開発が進められている。</p> <p>○基礎的な研究により、今後の開発される技術が生産現場に普及し生産性向上が図られている。</p> <p>成果目標：長野県農業関係試験研究推進計画の技術開発目標220技術達成（2022年）</p> <p>（主な実施内容：試験場施設整備、素材開発研究、県単プロジェクト研究など）</p>
------	---

事業 コスト	区分(単位:千円)	29年度	30年度	元補正後	指標及びその達成状況							
		前年度繰越	644,955	0	0	No	成果指標	29年度末	30年度末 (見込)	令和元年度		
		当初予算	587,805	497,167	557,140					目標値	成果	達成状況
	補正予算	-42,710	-70,926	563,579	①	2022年までに技術開発を予定している課題の達成率	-	4%	17%			
	合計(A)	1,190,050	426,241	1,120,719	②	品種育成数	6品種	1品種	1品種			
Aの 財源	一般財源	156,841	132,058	151,330	③	要望に基づいた研究着手数	10課題	10課題	10課題			
	県債	444,000	23,000	358,000								
	国庫支出金	186,724	45,694	350,518								
	その他	402,485	225,489	260,871								
決算額(B)	1,121,430	415,806										
概算 人件 費	職員数(人)	170.00	170.00	170.00								
	概算人件費(C)	1,377,340	1,377,340	1,377,340								
概算事業費(B(A)+C)	2,498,770	1,803,581	2,498,059									

成果指標 設定理由	①～③「第3期県食と農業農村振興計画」に基づき策定する農業関係試験研究推進計画(2018年より2022年までの5か年)に掲げる220課題のうち、技術開発の進捗率を評価できる指標であるため。
--------------	--

補正により取り組む 事業内容	令和元年9月に発生したCSFにより停止している畜産試験場の養豚研究を再開するため、国の補正予算を活用し、防疫体制を強化した養豚研究施設を整備する。
-------------------	---

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	令和元年度 実施内容(予定)	職員数 (人)	令和元年度		
				(補正前)	(2月補正)	(補正後)
1	運営費	試験場の運営、施設管理を行う。	170.00	178,447		178,447
2	農業関係試験場整備事業費	農業関係試験場の施設及び設備の更新・導入により、技術開発の効率的・積極的な推進を図る。	兼務	11,038		11,038
3	研究推進費	試験研究の効率的な運営を行い、知的財産の管理や積極的な活用を促す。	兼務	9,408		9,408
4	素材開発研究費	農業生産現場のニーズに応えるため、基礎となる「研究シーズ」を創出し、応用技術につながる基礎知見の集積を図る。	兼務	109,964		109,964
5	県単プロジェクト研究費	生産現場の緊急要望へ対応するため、各部門から選出したチームにより短期間(3～5年)で集中的な技術開発を図る。	兼務	36,860		36,860
6	高度化等開発研究費	農水省の競争的資金等を活用し、主要農作物が直面する重要課題に対し国研や大学などの協力研究により技術開発を図る。	兼務	154,729		154,729
7	新資材試験等協力研究費	国や民間企業、団体等からの委託された研究を活用し、長野県農業の発展に貢献する技術開発を推進する。	兼務	56,694		56,694
8	畜産試験場養豚研究基盤強化事業費	畜産試験場に高度な防疫体制を備えた養豚研究施設を整備する。	兼務		563,579	563,579
	合計		170.00	557,140	563,579	1,120,719

事業改善シート附表

事業番号 09 03 06	事業名 農業関係試験研究推進事業	農政課		令和元年度 実施内容	令和元年度 実施内容 (実績)	元年度 実施 状況	農政部		課・室	農業技術課			県民協働事業改善		備考 (H30事業 番号)		
		細事業 No	細事業名				項目	実施 方法		29年度 当初 (千円)	30年度 当初 (千円)	令和元年度				実施 年度	主な点 検区 分結果
												要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)			
1	運営費	試験場の運営・施設管理	直接	試験場の運営、施設管理を行う			200.648	112.103		192.211	178.447						
2	農業関係試験場整備事業費	農業関係試験場の施設及び設備の更新	直接	農業関係試験場の施設及び設備の更新・導入により、技術開発の効率的・積極的な推進を図る。			10.724	10.724		10.724	11.038						
3	研究推進費	試験研究の効率的な運営と知的財産管理	直接	試験研究の効率的な運営を行い、知的財産の管理や積極的な活用を促す。			6.871	12.096		9.408	9.408						
4	素材開発研究費	農業生産現場のニーズに応えるための基礎知見の集積	直接	農業生産現場のニーズに応えるため、基礎となる「研究シーズ」を創出し、応用技術につながる基礎知見の集積を図る。			108.112	108.605		109.964	109.964						
5	県単プロジェクト研究費	生産現場の緊急要望へ対応するための短期間（3～5年）で集中的な技術開発	直接	生産現場の緊急要望へ対応するため、各部門から選出したチームにより短期間（3～5年）で集中的な技術開発を図る。			50.457	34.378		40.479	36.860						
6	高度化等研究開発費	農水省の競争的資金等を活用した国研や大学などとの協力研究による技術開発	直接	農水省の競争的資金等を活用し、主要農作物が直面する重要課題に対し国研や大学などとの協力研究により技術開発を図る。			153.340	162.038		154.729	154.729						
7	新資材試験等協力研究費	国や民間企業、団体等からの委託された研究を活用した技術開発	直接	国や民間企業、団体等からの委託された研究を活用し、長野県農業の発展に貢献する技術開発を推進する。			57.653	57.223		56.694	56.694						
8	畜産試験場 養豚研究基盤強化事業費	防疫体制を強化した養豚研究施設を畜産試験場に整備	直接	畜産試験場に高度な防疫体制を備えた養豚研究施設を整備する。 ・飼育管理エリアの防疫対策強化 ・野生鳥獣対策の強化 ・省力的かつ動物福祉に配慮し、防疫体制を強化した豚舎の新築及び改築							563.579						
合 計							587.805	497.167		574.209	557.140	563.579	0				

当初要求    当初予算案  
補正予算案    点検